

⑧ 脳神経

重要

脳から出る末梢神経 (ただし I と II は中枢神経に属する)
頭蓋骨を通りぬけ、主として頭部に分布し、運動と知覚を司る。
12対の神経からなる。

I 嗅神経

嗅覚を伝える。

II 視神経

視覚を伝える。

III 動眼神経

眼球の運動と上眼瞼を上げる運動を司る。瞳孔を縮小

IV 滑車神経

眼球を外下方に回転する筋を支配

V 三叉神経

顔・頭部前面の知覚神経・咀嚼筋を支配する運動神経の混合したもの
(三叉神経節 → 眼神経・上顎神経・下顎神経の3枝に分かれる)

VI 外転神経

眼球を外転させる筋を支配

VII 顔面神経

顔面の表情筋を支配。舌の前2/3の味覚。唾液や涙の分泌を司る

→ 舌下腺、顎下腺

VIII 内耳神経

聴覚と平衡感覚に関係

IX 舌咽神経

舌と咽頭に分布。嚥下運動。舌の後1/3の味覚。唾液の分泌

声帯をばい

X 迷走神経

運動と知覚および副交感神経の混合したものの口蓋、咽頭、喉頭の運動を司る

胸神経が喉頭を司る (耳下腺)

XI 副神経

半分は迷走神経にかわり、喉頭の筋、胸鎖乳突筋、僧帽筋に分布

骨格内臓を除くすべての内臓に枝を与える。

XII 舌下神経

舌の運動を司る

かいてみる うごくまのみつろ

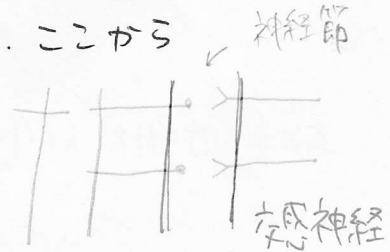
かあきくはにまろふせが

⑨ 自律神経 autonomic nervous system 自律的
 心臓 消化管 血管 汗腺など意志を介することなく反応する
 内臓臓器の運動や分泌を自動的に調節する神経系

交感神経と副交感神経の2種類があり、大部分の内臓臓器は
 両方の分布をうけている。両神経の作用は(拮抗的)的で、一方が
 (促進)にはたらくときは、他方は(抑制)にはたらく。

1) 交感神経

脊髄の胸骨髄と腰骨髄から出て、脊髄の両側にある
 (神経節)に入る。交感神経は上下につながって左右
 一対の索、すなわち(交感神経幹)をつくっていく。ここから
 枝分かれしていく。

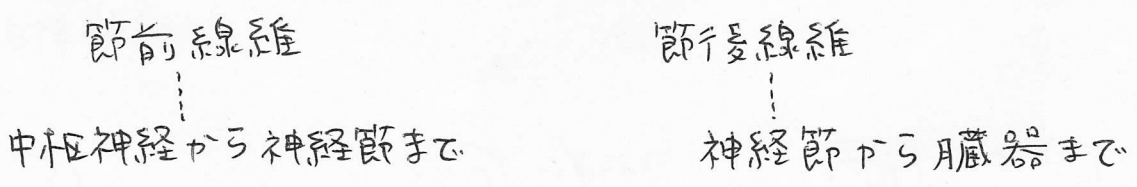


2) 副交感神経

脳脊髄神経の中に含まれている。
 動眼(顔面)(迷走) 舌咽神経と仙骨神経の中に
 副交感神経は交じっている。

3) 化学伝達物質

交感神経 ---- アドレナリン作動性神経
 副交感神経 ---- ACh 作動性神経



両方とも末端でACh

交感 アドレナリン
 副交感 ACh